

ジェンダーと国連  
 (『国連研究』第16号)

目次

序	II
I 特集テーマ「ジェンダーと国連」	
1 女性の権利およびジェンダーの平等の発展過程—国連で採択された国際人権文書を中心に	軽部恵子 19
2 女性の健康と権利をめぐる国連と国際社会の動き—性と生殖に関する健康と権利 (SRH/R) の分析を中心に	池上清子 43
3 「女性・平和・安全保障」—国連安保理決議 1325 (2000) の履行に向けた制度化を中心に	上野友也 65
4 国連におけるジェンダー主流化と貿易自由化—UNCTAD による試み	近江美保 85
5 国連機関とジェンダー・センシティブなリージョナル・ガバナンス—大メコン川流域地区における人身売買対策と UNIAP を事例として	中村文子 105
6 国連と性的指向・性自認—人権理事会 SOGI 決議の意義	谷口洋幸 123
II 独立論文	
7 統治者としての国際連合に対する人権上の制約—国連コソヴォ暫定統治機構の実行を中心に	田村恵理子 143
8 国際連合における拒否権の意義と限界—シリア紛争における中露の拒否権行使に対する批判的検討	瀬岡 直 163
9 冷戦後の国連総会における核軍縮議論 (1994-2013 年) —日本、非同盟運動諸国、新アジェンダ連合提出核軍縮決議の比較検討	津崎直人 187

## Ⅲ 政策レビュー

- 10 国際植物防疫条約（IPPC）の役割と機能および関連貿易紛争の概観  
 ..... 横井幸生 209

## Ⅳ 書評

- 11 旭英昭著『平和構築論を再構築する』 ..... 上田秀明 237  
 12 墓田桂、杉木明子、池田丈佑、小澤藍編著『難民・強制移動研究のフロンティア』 ..... 星野俊也 243  
 13 安田佳代著『国際政治のなかの国際保健事業—国際連盟保健機関から世界保健機関、ユニセフへ』 ..... 久木田純 247  
 14 二村まどか、Nadia Bernaz 編著『移行期の国々における死刑制度の政治学』 ..... 望月康恵 253

## Ⅴ 日本国際連合学会から

- 1 国連システム学術評議会（ACUNS）第27回年次研究大会に参加して  
 ..... 石塚勝美 261  
 2 第14回東アジア国連システムセミナー報告 ..... 大平 剛 267  
 3 規約および役員名簿 ..... 271

## Ⅵ 英文要約 ..... 275

## 編集後記 ..... 297

## 執筆者紹介 ..... 299